

● 広報

おぐい



2004

10

NO.600



シリーズ
7

と き
輝きの瞬間

自らの味づくりにかける情熱

「小学生の頃からお菓子屋になるのが夢だったんですよ」と語る小国小坂町「角松屋」2代目の今祐介さん。両親と三人で菓子づくりに取り組む日々を送る中で、自らの味の創出に挑戦し続けている。

みんなの 広場

9/10

大技の連続 東セウ相撲大会



東芝セラミックス株式会社
小国サイト（早川泰雄サイト
長）の稲荷神社奉納相撲大会
が、九月十日、同社相撲場で
開かれました。

当日は、やくみつるさんや
東関親方、神幸さんがゲスト
として招かれ、相撲大会を盛
り上げました。大会は、個人
団体戦のほか、勝ち抜き戦の
花相撲などが繰り広げられま
した。力のこもった熱戦に会
場は、大きな歓声に包まれて
いました。



9/19

七時間の熱演 野外ライブ



白い森音楽祭2004が、
九月十九日、白い森交流セン
ターりふれ野外特設能舞台で
行われました。この音楽祭は、
置賜地方の文化振興を推進し
ている置賜文化フォーラムと
実行委員会（本間洋一委員長）
が初めて企画したものです。

町内の出演者のほか、新潟
や仙台などから十一団体が出
演。ジャズやロック、ブルー
スなどが披露され、訪れた五
百五十人は、野外ライブに酔
いしました。

米沢工業高校二年の木村健
一君（古田）が、2004全
日本ジュニア・レスリング
チーム日韓交流競技大会に参
加しました。
韓国のソウル市で開かれた
この大会には、全国より二十
名の選手が階級別に選出され
ました。120キ級フリース
タイルに出場した木村君は、
「韓国選手のパワーや優れた
技術を試合や練習とおして
経験できました。」と感想を
語ってくれました。



9/11~18

レスリングで 国際大会出場！

ーこの人に聞くー



小国高等学校
外国語指導助手
マシュー・ハーパーさん

みどりが多く、 美しい町並みに感激

8月から小国高等学校の外国語指導助手に就任されたマシュー・ハーパーさんにお話をうかがいました。

「私は、スコットランドの首都エディンバラの出身です。スコットランドは、風が強く、美しい町並みの特徴の歴史のある町です。

日本へは、固有の礼儀作法やエチケットなどに興味を持ち、勉強したいと思いましたので、来日することになりました。私の小国町の印象は、緑が多く、故郷に似ているので、なんだか落ち着きます。また、趣味はスケートボードとハンディ2のゴルフです。冬のスキーや日本のゴルフコースでプレイするのを今から楽しみにしています。

英語の授業では、西洋の文化をクイズ形式で教えながら、子どもたちの質問にどんどん答えていきたいと思います。また、私が小国で生活するにあたって、町民の皆さんが温かく迎え入れてくれたことに対して、非常に感謝しています。

どうぞよろしくお願いします」。

8/23

境内に響き渡る ハーモニカの優しい音色



ペンタトニックハーモニカでうたう齋藤壽孝コンサートが、八月二十三日、光岳寺（小国小坂町）で開催されました。当日は、ハーモニカ界の第一人者である全日本ハーモニカ連盟理事長の齋藤壽孝

さんを迎えてのコンサートで、境内には約百名の聴衆が集まりました。齋藤さんは、なじみのある「冬のソナタ」など二十六曲を演奏。境内には、趣のあるハーモニカの音色が響き渡っていました。

9/13

柔らかな ハンドベルの響き



山形学院高等学校ハンドベル部（山川智実部長）のコンサートが、九月十一日、総合センターで開催されました。このコンサートは、町民の皆さんにハンドベルの演奏を披露しようと初めて企画したのも

のです。コンサートでは、「君を乗せて」など計十三曲を披露。十九人が奏でる柔らかな音色を会場全体に響かせていました。このほか、同部は基督教独立学園高等学校などでもコンサートを開きました。

町のできごとをまとめ伝えて50年

昭和29年3月に、旧小国町・北小国村・南小国村が合併し、新町小国町が誕生しました。その翌月の4月に創刊した「広報おぐに」が、今月で600号を迎えました。創刊号でうたった町民と行政とを結ぶ理解と融和の“ともづな”という使命に基づき、以来、50年にわたり、町の出来事をまとめ、伝え続けてきました。今月は、これまでの広報のあゆみを振り返ります。

「**広報おぐに**」が**六〇〇**号！





【100号】 昭和37年 6月

主な記事：

- ・第3回町議会臨時会、焼山診療所完成
- ・山形県総合体育大会山岳競技開催のお知らせ
- ・消防演習



【創刊号】 昭和29年 4月

主な記事：

- ・小国町と南小国村、北小国村が合併し、新町小国町が誕生
- ・杉沢公民館が完成
- ・広報おぐにの創刊を祝す(県知事)

50年のあゆみ

広報
おぐに



【296号】 昭和54年 4月

※表紙題字が現在のものに
主な記事：

- ・大石沢分校と市野々分校が閉校に
- ・おぐに保育園が竣工
- ・強風で八千万円の被害



【200号】 昭和46年 3月

主な記事：

- ・西団地の地名が、「幸町」となる。
- ・田沢頭地区で消防法講習会開催
- ・統一地方選せまる



【186号】 昭和45年 1月

※大きさがタブロイド判から
B5判へ変更
主な記事：

- ・新年の抱負
- ・山形県から町に雪上車が配置

時代の変化にあわせた 規格の変遷

広報の大きさなどの規格は、時代の要請に応じて変更してきました。創刊から185号までは、タブロイド版（新聞紙の1ページの半分の大きさ）で発行しましたが、昭和四十五年一月の186号からB5判にサイズに変更したほか、表紙の題字についても、昭和五十四年四月の296号から現在のものを使用してきました。

また、平成五年一月の459号からはA4判に変更し、現在に至っています。

さらに、読みやすくするため、文字の大きさも次のように変えてきました。

（創刊号～458号）

「広報おぐに」600号

（459号～558号）

「広報おぐに」600号

（559号～現在）

「広報おぐに」600号

広報おぐにへ期待

渡辺英雄さん（小国小坂町）



「私は広報を読んだ後に、毎号、つづっています。私が広報を読んでいて一番目のいくのが表紙です。見ていて気がつくことなのですが、カラー表紙を採用してほしいですね。カラーにすると、やはり迫力が違います。」

また、他の市町村の広報と比べて、字が大きいのは非常に見やすく、高齢者にとってもいいことだと思います。また、毎月の特集などは、一つの話題を詳しく掘り下げ、取り上げている点については、好感が持てます。

以前もありましたが、町出身の方のメッセージなどを連載し、交流の糧としてほしいです。」



【400号】昭和63年1月

主な記事：

- ・小国町新総合計画（2000年の町の姿は…）
- ・わが町のJ I M A N 44
- ・地区対抗バスケー優勝は北東部東地区ー



【お知らせ版第1号】昭和58年4月

※お知らせ版第1号を発行（毎月1日、15日）

主な記事：

- ・山形県知事選挙
- ・地区対抗体育大会年間総合成績



【300号】昭和54年8月

主な記事：

- ・町づくり基本構想
- ・故井上県議をしのぶ
- ・小国中が県中学野球で初優勝
- ・広報おぐにが300号

塚原美保子さん（舟渡）



「広報には、毎月、目を通すようにしています。また、四月から広報とお知らせ版が統合されましたが、つづりやすく、なくしづらいという点から非常にいいことだと思えます。読んでいて感じることは、使われる言葉が、少しわかりづらいということです。できるだけ行政の専門用語は使わず、わかりやすい言葉づかいに心がけていただきたいですね。」

また、写真をもっと多く使って、一目で内容がわかるような広報を作っていただきたいです。町内各地で開催されている小さな行事についても、ぜひ、載せてほしいです」。

多様な広報活動を展開

情報化の進展に伴い、情報



町のホームページをご覧ください
(<http://www.ic-net.or.jp/home/oguniww/>)

の送り手と受け手が互いに交流をもつことのできるホームページの役割が重要性を増しています。

町のホームページは、平成九年から開設し、さまざまな情報を発信していますが、その画面でも広報おぐにを実際の紙面と同じく見ることができきます。町では、広報誌だけではなく、こうした媒体を活用しながら行政情報の多様な発信に努めています。

創刊以来、一貫して堅持してきた「ともづな」という広報の役割を今後も果たしながら町民の皆さんに愛される広報づくりに取り組んでいきます。



【559号】平成13年5月

※文字を現在の大きさに変更
主な記事：

- ・動き出した中高一貫教育
- ・町長室に専用ファックスを設置・町長と語る日を開催



【500号】平成8年6月

主な記事：

- ・広報おぐに500号記念特集
- ・第2回小国町国際文化フェスティバル
- ・小学校社会科副読本完成



【459号】平成5年1月

※大きさがB5判からA4判へ変更

主な記事：

- ・新春紙上座談会
- ・市野々で離村式
- ・中野冬季分校開校



国道開通当時の沼沢地区（昭和50年）



国道113号が全線開通した当時の間瀬付近の様子（昭和50年）

新町50周年記念

写真で振り返る50年
シリーズ5

国道113号全面改良

昭和五十年十一月。国道一一三号の新潟県荒川町と南陽市とを結ぶ七十九・二キロメートル区間が八年の歳月と総事業費百六十二億四千七百万円の巨費が投じられて完成しました。

昭和四十二年の羽越水害をきっかけとして着手されましたこの事業の完成によって、冬季間における町外との道路交通が可能となるなどヒト、モノ、経済、情報、文化などの多面的な交流が促進され、「閉ざされた地域社会から開かれた社会」への夜明けとなりました。



国道改良前の小国高校付近の様子（昭和30年代）



現在の約3倍、6.5kmの峠越えを強いられた改良前の宇津峠（昭和37年）



改良途中の赤芝峠（昭和46年）



羽越水害後の濁流のつめ跡（昭和42年）

九月定例議会

二十五議案を審議可決

九月定例議会が、九月九日から十七日まで開催されました。今回の議会では、平成十五年度の各会計決算のほか、平成十六年度各会計の補正予算など二十五議案が審議され、原案どおり可決されました。

一般会計に一億八千四百七十四万三千円を追加

一般会計に、一億八千四百七十四万三千円を追加しました。この結果、補正後の一般会計予算の総額は、六十四億六千四百十四万二千円となりました。主な内容は次のとおりです。

▼災害復旧経費に一億六千二百七十一万三千円を追加

七月十七日の豪雨災害に対

する国庫補助・負担事業による災害復旧事業について実施の準備が整いましたので、所要額を措置しました。

農業施設関係では、高松地内の農地災害一カ所、井の下土地改良区幹線用水路及び頭首工など九カ所合わせて十カ所の復旧経費を追加しました。

林業施設につきましては林道沖庭線など四カ所を本年度内に実施することし、沖庭線の山間部の三カ所は翌年度に実施することになりました。

公共土木施設関係では、松岡大石線の朝篠地内、松岡黒沢峠線の黒沢地内の八カ所、河川では伊佐領地内の小川沢川をはじめ六カ所、計十四カ所を実施することとし、郷土の森五味沢線など山間部の道路六カ所については翌年度に実施することとしました。

このたびの補正を含め、七

月の豪雨災害復旧経費は、三億七百十六万八千円となりました。

▼舟渡農村公園を移設

今年度より山形県が着手する県道五味沢小国線沖庭橋架け替え事業に伴い、舟渡農村公園の移設が必要となったため、公共事業の補償として、所用額を追加しました。

▼小国いきいき街づくり公社へ出資

町の第三セクターである株式会社小国いきいき街づくり公社への出資者の減により、その保有株につきまして、出資比率に応じた株数を引き受けることにしました。

一部の簡易水道料金を値上げ

水道法の改正に伴い、水質検査方法が改められたことから検査費用が大幅に増加することとなりましたので、その

財源を確保するため、尻無沢地区、五味沢地区、新股・河原角地区の簡易水道料金を見直すこととしました。

地域資源活用総合交流促進施設工事の契約を決定

小玉川農村広場公園内に整備する地域資源活用総合交流施設建設工事の請負契約を締結しました。契約の相手方は、山和建設株式会社で契約金額は、五千四百六十万円。平成十七年三月の完成を予定しています。

収入役事務を助役が兼務

収入役の事務を助役が兼ねて処理することとし、小国町収入役事務兼掌条例を設定しました。これに伴い、九月二十日から収入役を置かず、助役が収入役の事務を兼務することになりました。

人 事

今回の議会で、選任または、



就任のあいさつ

小国町助役 加藤 春雄

このたび9月20日をもちまして、
小国町助役を拝命いたしました。

折りしも今年は新町が誕生してから50年の節目を迎えました。これまでの町づくりを振り返りながら、住みやすい町の実現に一層、努めてまいっている所存であります。

さて、現在の地方自治体を取り巻く環境は、少子高齢化の進行、地方分権、三位一体の改革などさまざまな場面で大きく変化いたしております。また、これに伴い、行政需要も多様化しておりますので、こうした動向を見極めながら、新しい時代にふさわしい自立したまちづくりに努力してまいります。

町民の皆様の一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

町職員の人事異動

●昇任（九月二十一日）
出納室長（健康福祉課地域福祉担当主査兼おぐに保育園担

任命に同意された特別職のかたがたは、次のとおりです。
助 役 加藤 春雄氏
監査委員 伊藤敬二郎氏
教育委員 河内 昭佐氏
佐藤 光信氏

当主査兼中央児童室長）岩沢 ちか
●配置替え（九月二十一日）
▼出納主幹（出納主幹兼出納室長）高井和喜 ▼健康福祉課生活福祉推進室長兼健康管理センター次長兼訪問看護ステーション次長（兼訪問看護ステーション次長）舟山忠夫



栄町一地区で進められていた防犯灯の工事が、八月に完成し、安全・安心な地域づくりに役立っています。
この防犯灯は、栄町一地区在住の皆さん四十一世帯で

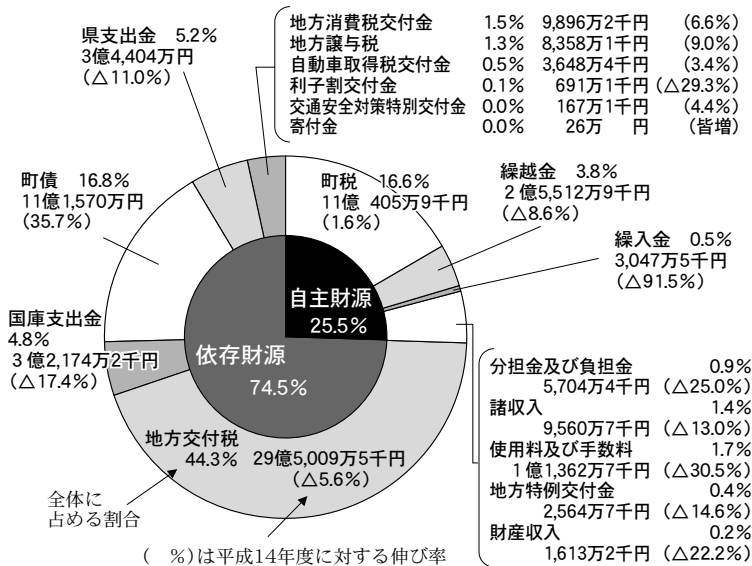
安全・安心な地域づくりに 栄町一地区に 防犯灯を整備

自治宝くじコミュニティ
助成事業で

組織する栄町親興会（須貝新二会長）が、明るい地域づくり推進のひとつとして、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業に申請していたもので、今年四月に採択され、設立されました。設置場所は、旧町立病院跡地より、中央通り商店までの約二百メートルの間で、水銀灯十二基が整備されました。
栄町親興会では、これまでに、旧病院跡地を利用した花壇の整備や、自らが主体となつて地域の活性化のための各種事業を展開してきました。

「63億3,779万1千円」でした。

歳入(町に入ってきたお金) 66億5,716万6千円



【一般会計の決算のあらまし】

平成15年度は、厳しさを増している国及び地方を取り巻く財政状況とともに、特に「三位一体改革」に伴う財政構造の変容に対処していくため、当面の間を「行財政改革緊急実施期間」として位置づけ、経常的支出の抑制に努めながら、少子高齢社会への対応や産業経済の活性化及び景気雇用対策等の施策の展開を図ってまいりました。

【入ってきたお金】

町に入ってきたお金のうち国庫支出金は、道路改築事業等の減少により、17.4%の減額となった他、県支出金は、農村総合整備事業および林業構造改革事業の事業費の減少により前年度に比べ11.0%の減となりました。

地方交付税は、交付すべき額の一部が地方債に振替されたことや普通交付税が減額となったため、1億7,487万5千円の減額となりました。

さらに、町税は景気の低迷により、町民税が大幅に減収となったものの、事業所の新設に伴い法人税が増額となったほか、前年度から繰り越された固定資産税が増収となりました。この結果、町税は、1,727万7千円の増額となりました。

この結果、一般会計の歳入総額は、前年度に比べ4.7%の減額の66億5,716万6千円となりました。

■病院事業会計決算

病院事業収益	10億1,007万円
病院事業費用	10億3,662万円
※外来患者 52,105人	入院患者 16,638人

■老人保健施設事業会計決算

老健施設事業収益	2億7,033万円
老健施設事業費用	2億6,406万円
※施設入所者 15,833人	短期入所者 903人
通所リハ利用者 4,283人	居宅支援 134人

■水道事業会計決算

水道事業収益	1億700万円
水道事業費用	8,164万円

■工業用水道事業会計決算

水道事業収益	5,064万円
水道事業費用	5,059万円

■国民健康保険事業特別会計決算

収 入	7億8,511万円
支 出	7億4,076万円

■老人保健特別会計決算

収 入	11億8,651万円
支 出	11億7,808万円

■下水道事業特別会計決算

収 入	4億2,194万円
支 出	4億2,160万円

■介護保険特別会計決算

収 入	7億2,524万円
支 出	7億1,563万円



子育て支援センター設置運営事業

平成15年度の一般会計の総額は

【使ったお金】

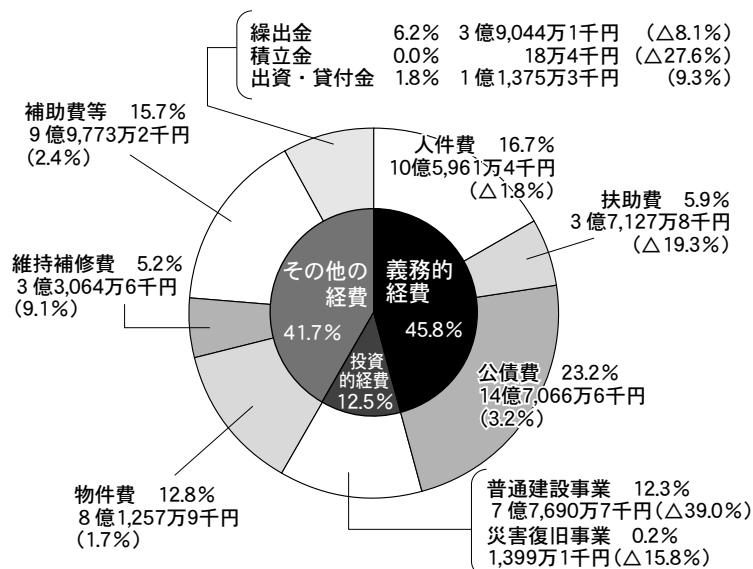
投資的経費は、町道整備事業や経営構造対策事業、北部小中学校屋内運動場改築事業などの事業を実施しました。

また、義務的経費の人件費は、職員数の削減等により昨年度に比べ1.8%の減額となりました。公債費（町の借入金の償還元金と利子の合計額）は、臨時財政対策債の増額と公有林施業転換資金の借り入れにより35.7%の増額となりました。

その他の経費の物件費は、戸籍電算化事業や法定外公共物の譲与申請の実施により前年度に比べ1.7%の増額となりました。維持補修費は、平成16年1月から2月にかけて豪雪に見舞われたことなどから、増額となりました。また、補助費等については、小国クリーンセンターの廃止にかかる一部事務組合負担金および第三セクター再生事業において損失補償を行った結果、前年度に比べ2.4%の増額となりました。

この結果、一般会計の歳入総額は、前年度に比べ5.8%の減額の63億3,779万1千円となりました。

歳出(まちづくりに使ったお金) 63億3,779万1千円



主な事業

【総務費】	
法定外公共物譲与申請事業	3,230万円
戸籍電算化事業	2,792万円
総合計画フォローアップ事業	2,189万円
【民生関係】	
支援費支給事業	8,705万円
軽度生活支援事業	207万円
子育て支援センター設置運営事業	1,538万円
【衛生費】	
合併処理浄化槽設置事業	1,939万円
老人保健事業	3,234万円
健康づくり事業	14万円
【労働費】	
雇用相談室開設事業	183万円
緊急雇用促進助成事業	640万円
【農林水産業費】	
新山村振興等農林漁業特別対策事業	1億2,194万円
経営構造対策事業	1,114万円
農村総合整備事業	3,385万円
食の文化、産業づくり推進事業	584万円
【商工費】	
地域づくり型ビジネス創造推進事業	40万円
第三セクター再生事業	5,895万円
【土木費】	
幸町地区流雪溝整備事業	2,718万円
町道横川ダム湖岸線道路整備事業	1億302万円
町道長沢三面線道路改良事業	7,573万円
【教育費】	
小中高一貫教育支援事業	614万円
子育て支援ネットワーク事業	599万円
北部小中学校屋内運動場改築事業	1億847万円



雇用相談室開設事業



北部小中学校屋内運動場改築事業



■創作舞台「白い森賛歌」では、大門四郎氏と北部小中学校の児童生徒が共演



■モダンダンスとアフリカ打楽器の共演は観客を魅了した

新町50周年記念

「白い森」と共に。

日仏芸術文化公演開催

今回で十年目を迎えた白い森国際ワークショップ事業を記念した日仏芸術文化公演が、九月五日、白い森交流センターりふれ野外特設能舞台で行われました。

また、白い森国際交流ワークショップでは、十七人の受講生が八月二十九日から九月十日まで、能楽師の九世観世鏡之丞（かみざねのせう）さんらを講師に迎え、能やバレエなど一流の舞台芸術を学んできました。

■至芸を披露—狂言／二人袴より



参加者からの声



雄大な自然に 感激

ワークショップ受講生
細川侑希さん
(大阪府)

雄大な自然の中で練習でき、とても充実した13日間でした。虫や川の音、そして、風のおいなど全てが新鮮でした。また、小国を訪れてみたくなりました。小国の皆さん、本当にありがとう！



緊張した 能舞台での 演奏

鼓友塾
大谷有平君(西)

野外能舞台での演奏は初めてだったので、少し緊張しました。でも、思ったより、うまく太鼓が叩けたので、自分では満足しています。また、機会があったら能舞台で演奏をしたいです。



何度足を 運んでも あきない小国

花柳吉衛さん(東京都)

豊かな自然の中で、のびのびと演技する出演者をうらやましく思いました。小国には毎年、来っていますが、大自然はもとより、そこに暮らしている方が魅力で、何度足を運んでもあきません。



■勇壮な太鼓の演奏を披露する鼓友塾



■ワークショップ発表会では、13日間の練習の成果を披露



■バレエの出前ワークショップより(伊佐領小学校)



■ワークショップでは、受講生たちが真剣な表情で一流の芸を学ぶ

木漏れ日が



■大自然をバックに舞台芸術を思う存分展開

第43回 少年の主張小国地区大会



第四十三回山形県少年の主張小国地区大会が、九月七日、小国中学校で開催されました。大会には、各中学校から代表九人が参加し、日頃の体験から学んだことを主張しました。審査の結果、小国中学校三年の塚原梢さんが最優秀賞に輝きました。

入賞者は次のとおりです。

■最優秀賞▽祖母の姿に学ぶ

(小国中三年 塚原梢さん)

■優秀賞▽母への感謝状

(北部中三年 齋藤和美)

■優良賞▽素直な自分に

(白沼中三年 齋藤玲子)

少年の主張小国地区大会 最優秀弁論論旨



“祖母の姿に学ぶ”

小国中3年 塚原 梢さん

段差のない床。手すりのついたろう下。大きな窓からは明るい光がさんさんと差し込んでいます。車椅子のお年寄りに優しく笑顔で話しかけている職員の方々。中学

一年の秋、老人介護施設温身の郷を訪れた私は、その恵まれた施設を見てとても驚きました。そして、見学させていただきながらその年に亡くなった祖父のことを思い出しました。

私の祖父は、長い間寝たきりでした。自分の力では歩くことも、話すことも自由にできません。そして、その祖父をずっと長い間、家族で介護し続けてきたのです。仕事をしつつ父と母が家にいない時の介護の中心は、やはり祖母でした。食事の世話はもちろん、祖父を寝室から別の部屋に移す時、百四十センチの祖母が百七十センチ

ある祖父を一人で抱えていたのです。『肩が痛い、腰が痛い』と訴える祖母のつらそうな姿を見て私も手伝うようになりました。初めて祖父を抱えた時の重さは予想以上でした。「こんなに重いじいちゃんを毎日一人で運んでたんだなあ。」だから、バリアフリーの設備があつたら、祖母ももっと楽に介護できたのかもしれないと思ったのです。そして同時に、あんなに大変だった祖父の介護を家族だけでし続けていたことを不思議に思いました。

私は、帰宅後すぐに、「ばあちゃん。じいちゃんの介護が大変で施設にお世話になろうとは思わねがつたん?」とたずねました。すると祖母は、

「じぶんが一番じいちゃんのことわかってっから、ほかの人が世話するより、自分が世話したほうがいいと思つたんだ。施設を利用しようとは思わねがつたな。」と答えました。「自分がじいちゃんのことを一番わかってる」この一言に、私は祖母の祖父に対する深い愛情を感じました。

大正十四年生まれの祖父が祖母と出会って結婚したのは、昭和二十七年だったそうです。祖父は、

終戦後も捕虜となり、シベリアで強制労働をさせられ、やっとの思いで日本へ帰ってきたという話でした。結婚後は、農業をしながら、三人の娘を育て上げ、これからのんびり暮らせると思つた矢先に、祖父が病に倒れてしまったのです。祖父五十八才、祖母五十一才の時でした。それから十九年間、祖母は祖父の介護の中心となって苦勞し続けてきました。祖母は、自分の苦勞よりも、祖父の「家族と一緒に暮らしたい」という願いを叶えるために、頑張り続けてきたのです。祖母の祖父への愛情が、私たち家族の絆をより一層深めて

いつたのかもしれない。環境の整つた施設を利用しないで、祖父を最後まで自分の手で介護をし続けた祖母を、私は尊敬しています。祖父を見送り、今、祖母は一人で寝ています。もう夜中に何度も起きる必要もなくなりました。楽にはなつたかもしれないけど、心なしかさみしそうです。今、祖母にとつての生きがいは畑仕事と仏だんに供える花を育てることです。私も、祖母のように深く強く家族を愛し続けることができるひとになりたい、そう思っています。

(原文のまま)

町長室だより



小国町長
小野 精一

六百号を刻んだ「広報おぐに10月号」をお届けいたします。

旧小国町・北小国村・南小国村が合併し、新町が誕生した昭和二十九年四月に第一号を発刊して以来、五十年のあゆみを経て広報も一つの節目を迎えました。長年にわたりご愛読いただき、改めて感謝を申し上げます。私も、町職員時代の数年間、広報業務に携わってきました。広報誌の大きさも発行当時のタブロイド版（新聞紙一ページの半分の大きさ）からB5判へ、そして現在のA4判へと変わっております。

また、印刷方法も一つの活字を組んで印刷して

いた活版印刷から写植印刷へと変わり、さらに、担当者が原稿を出す方法も、手書きの原稿用紙からワープロで加工したフロッピーディスクへ、そして、今では文書だけでなく、写真もコンピュータでのメール送信となっています。

レイアウト用紙に三角定規、原稿用紙とトレースングペーパーといったかつての広報担当者の七つ道具は見かけられなくなりつつあります。

印刷技術の進歩やその加工速度が速まったとしても、町の出来事を写真撮影し、文章にまとめ、活字で伝えていくという広報が果たしてきた情報伝達の原理に何も変わりはありません。

行政情報を迅速にかつ適正に伝えていく行政広報の使命を改めて見つめ直しながら、町民皆さんに一層愛される「広報おぐに」を、今後積み上げていきたいと思っております。

癒しの園 シリーズ7

健康考話



町立病院 院長
阿部 吉弘

すか。

暑い夏が過ぎ、ようやく秋になりました。皆さんお元気で

朝晩の涼しさとともに空気も乾燥し始めました。呼吸器の粘膜の敏感な方にとっては咳などの症状のでやすい季節になってきました。

今日は咳の話をしましょう。咳には大きく分けて二種類があります。痰を伴う咳と伴わない咳です。痰を伴う咳には、肺や気管支にバイ菌などが感染して炎症が引き起こされ、粘膜が破壊されて分泌物が多くなったりしてでる咳があります。一方、痰を伴わない咳には、気温や湿度の変化などの刺激ででる咳があります。さて、咳の止め方ですが、

痰を伴う咳には、咳を直接止める薬は使用しない場合があります。例えば気管支にバイ菌が感染している場合、私たちは咳をすることによって痰とともに、体の炎症の原因になっているバイ菌を体から追い出していきます。このような時に咳を止めてしまうと、バイ菌が外に追い出されず、気管支の中も痰があふれ、かえって呼吸が苦しくなってしまうことがあります。このような場合には、痰を出やすくする薬を使います。痰がどんな体の外に出ていくと、自然に咳が止まります。痰が出なくなってもまだ咳が止まらないときには、補助的に咳を直接止める薬を使って様子を見ます。お話ししましたように、咳は異物や痰を体外に出す重要な体の防御機能です。皆さんのなかに、長引く咳や夜間の安眠を妨げる咳で悩むの方はいないでしょうか。咳はいろいろな病気の症状でもあります。お悩みの方はどうぞ医療機関へご相談ください。

募集

町営住宅等の入居者募集

- 町営住宅
 - ▼幸町団地 2K 2戸
 - ▼小坂町団地 3DK 1戸
- ▽対象 同居する親族があり、住宅に困っているかたで前年度所得額が月額二十万円以下のかた
- 勤労者住宅
 - ▼小坂町1号棟

▽対象 2DK 1戸、2K 2戸
小国町で働いているかた

■募集期間 10月4日(月)～11日(月)

■入居時期 11月上旬

■敷金 家賃の3カ月分

■問合先 地域整備課へ

よさこいサークル YOSAKOI SOUL 会員募集

■日時 毎週火曜日 午後7時～9時

■場所 町民体育館

■月会費 大人 五百円、子ども 二百五十円
■問合先 川部(☎090-2606-9454)へ

ちぎり絵教室受講生募集

■日時 10月9日(土)より毎月第2、第4土曜日

■場所 午前9時30分～11時30分 老人福祉センター

■費用 材料費実費

■持ち物 はさみ、筆記用具、ボールペン、古い絵筆、糊など

催し

大里峠越え交流会

■日時 10月17日(日) 午前8時～午後4時

■集合場所 役場東側駐車場

■募集人員 50名

■参加費 無料

■申込先 老人福祉センター (☎62-2825)へ

新町50周年記念

小国町健康まつり

■日時 11月7日(日) 9:45～16:00

■場所 総合センター、町民体育館、温泉健康館 ゆ～ゆ

■内容

▽健康づくり講演会

9:45～11:30 総合センター集会室

▼演題「楽しく動いて、健康づくり」

▼講師 快フィットネス研究所 秋葉早緒氏

▽食の提案・試食コーナー

11:30～ 温泉健康館ゆ～ゆ食堂周辺

地元の食材や雑穀を使った料理の試食

▽体験を通して健康づくり

▼「温水プールを利用した運動」 温泉健康館ゆ～ゆ

○1回目 13:30～14:00

○2回目 15:00～16:00

※各回とも定員は25名です。希望されるかたは申し込みが必要です。

▼「歯の健康相談、検診」

11:30～15:00 総合センター保健室

▼「ニュースポーツ(新種目)紹介」

13:30～16:00 町民体育館

▽展示、子育て支援、健康相談コーナー

10:00～16:00

▼「展示コーナー」 総合センター研修室

介護用品展示、高齢者作品展、食に関する健康情報

▼「子育て支援コーナー」 総合センター会議室

親子体操、絵本の読み聞かせなど

※託児も受け付けています。希望されるかたは、申し込みが必要です。

▼「健康相談コーナー」 総合センター研修室

アルコールパッチテスト、血圧、体脂肪測定

■申込・問合先 健康福祉課へ

健康スポーツ教室

■日時 11月18日、25日、12月2日、9日、16日、成17年1月13日、20日、日、2月3日、10日、17日(毎

■内容 バルーンアート、手品
■参加費 無料
■申込期限 10月25日(月)
■申込・問合先 教育委員会事務局へ

■対象 少年団の指導者、子ども会育成会の関係者、学校関係のかたなど、青少年の体験活動に興味があるかたならどなたでも受講できます。

体験活動指導者実技研修会

■日時 10月30日(土) 午前9時30分～午後3時

■場所 総合センター

■対象 ボランティア活動をしているかた、スポーツ

■内容 大里峠を関川村側から登り、小国町側に下ります。(雨天時には行程を変更する場合があります)
■持参するもの 昼食、飲み物、折り鶴など
■申込期限 10月12日(火)
■申込・問合先 地域整備課へ

相 談

年金相談

- 日 程 10月20日(水)
- 受 付 10:30~14:30
- 場 所 役場町民相談室
- 内 容 年金に関すること
- 問合先 町民課へ

行政相談

行政全般について、困っていること、納得のいかないこと、要望したいことなどの相談に行政相談員が応じます。相談は無料で、秘密は厳守されますので、気軽に相談してください。

- 日 程 10月18日(月) 10:00~15:00
- 場 所 行政相談員 本間とみ氏宅
(☎62-2091)
- 問合先 町民課へ

にここ相談

- 日 程 10月21日(木)
- 場 所 置賜生涯学習プラザ(長井市)
- 内 容 子どもの発達に関する相談
- 対 象 障害の心配のある幼児、児童、生徒とその保護者のかた
- 費 用 無料
- 申込期限 10月7日(木)
- 申込・問合先 県教育センター発達相談受付専用電話(☎023-654-6060)へ

総合センターから

新刊図書

- ◆ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団 上下 J・Kローリング 長嶋 有
 - ◆パラレル 司馬遼太郎
 - ◆坂の上の雲 全六巻 坪田 愛華
 - ◆愛華、光の中へ カン・ウンギョン 谷 有二
 - ◆ホテリアー 上 谷 有二
 - ◆山名の不思議 谷 有二
 - ◆県民力ズバリ!わかる本 ロム・インターナショナル 館野 淳
 - ◆原子力のことかわかる本 館野 淳
 - ◆揺さぶられっ子症候群と子どもの事故 伊藤 昌弘
 - ◆日常語の意味変化辞典 堀井令以知
- ※ほか多数入荷しました。

- 対象者 運動をしても問題のないかたで、中性脂肪の高いかた、健康やスポーツに興味のあるかた
- 定 員 10名
- 内 容 体力測定、トレーニング方法指導、水中運動、健康チェック、個別指導
- 受講料 三千元
- 申込方法 町民体育館に用意してある申込書に必要事項を記入し、受講料を添えて申し込んでください。
- 申込・問合先 町民体育館
(☎62-5421)へ

- 日 時 10月16日(土)
午前9時50分~12時30分
- 場 所 健康管理センター「風のホール」
- 内 容 人形劇(劇団あい)、食の提案(おにぎり汁物)、フリーマーケット
- 参加費 大人、子どもともに一人三百円
- 持ち物 はし、おわん
- 申込期限 10月13日(水)
- 申込・問合先 健康福祉課へ

- 日 時 11月5日(金)
午前10時~
- 場 所 梅花皮荘
(現地集合となります)
- 内 容 正しい入浴法、ヘルシーメニュー、アロマテラピーなど
- 定 員 30名
- 参加費 三千元
- 申込期限 11月18日(木)
- 申込・問合先 置賜地域温泉活用実行委員会事務局
(☎0238-22-3004)へ

- 日 時 10月9日(土)
午前10時~午後5時
- 場 所 アスモ西側駐車場および山形銀行小国支店駐車場周辺
- 内 容 伝統儀式の上棟祭の再現、手づくり加工品販売、木工体験、「匠の技」体験、住宅相談会など
- 問合先 小国町商工会
(☎62-4146)へ

- 日 時 11月13日(土)午前10時~14日(日)午前11時30分
(二泊二日)
- 場 所 国民宿舎飯豊梅花皮荘
- 募集人員 先着25名
- 内 容 撮影基礎講座および風景等の基礎講座
- ▽講師 写真家 鈴木一雄
- ▽撮影場所 樽口峠、玉川周辺、温身平等
- 参加費 一万三千元
(二泊三食付)
- ※13日の夕食は、交流会となります。
- 申込期限 10月29日(金)
- 申込・問合先 おぐに白い森(株)(☎0238-62-4518)へ

マギー司郎・審司
スペシャルマジック&
トークショーinおぐに

■日時 10月23日(土)

昼の部 午後1時～
夜の部 午後6時～

■場所 町民体育館

■前売料金 大人 三千五百円、小人(18歳以下) 千円

幼児 無料(ただし、当日券は大人四千円、小人前売料金と同じになります)

※Oカードポイントでも入場券が交換できます。

大人千五百ポイント、小人三百ポイント、ファミリイ券三千ポイント

■問合先 協小国ポイント会
(☎小国町商工会内62-4146)へ

サッカー観戦

(株)山形県スポーツ振興21世紀協会が、モンテディオ山形ホームゲームに小国町民のかたがたを招待します。無料で、チケッ트가必要ですので早めに申し込んでください。

■日時 10月16日(土)

キックオフ 午後2時～
(午後1時30分までに受付を完了してください)

■場所 山形県総合運動公園陸上競技場

■料金 無料

■定員 先着20名(定員になり次第締め切ります)

■申込方法 口頭または電話で申込受付順にチケッ트가お渡しします。

■チケッ트가申込受付日時 10月4日(月)～8日(金)

午前9時～午後5時

■申込・問合先 町民体育館
(☎62-5421)へ

子育て支援センターから

▽『あそびの広場』

■日程 10月19日(火)、26日(火)

(子育て講座)「歯科健康教室」、11月2日(火)、9日(火)

■時間 10時～11時30分

■場所 健康管理センター

▽『なかよし広場』

■日程と場所

▼10月21日(木)、11月4日(木)

総合センター交流室

▼10月28日(木)、11月11日(木)

おぐに保育園

■時間 10時～11時30分

▽『子ども愛ランド』

■日時 11月13日(第2土曜日)

9時～12時30分

■場所 健康管理センター

■内容 お楽しみ工作と読み聞かせ

※詳しいことは、子育て支援センター(☎62-2330)へ

ご案内

10月は土地月間です

10月1日から31日は「土地月間」です。大規模な土地の取引には、届出をしましょう。

○届出が必要な土地取引は

①市街化区域 二千㎡以上
②①を除く都市計画区域五千㎡以上

③都市計画区域以外の区域1万㎡以上

○届出は誰が、いつするの
土地の取得者(買主)が、

契約(予約)した日から2週間以内に、役場総務企画課へ届出をしなければなりません。

○届出をしないとどうなるの
届出をしなかったり、偽りの届出をすると、法律で罰せられます。

■問合先 総務企画課へ

恩給欠格者、引揚者の皆様へ

特別基金では、次のかたに内閣総理大臣名の書状などを贈呈しています。

○旧軍人軍属で恩給などを受けていない、恩給欠格者

○終戦に伴い、本邦以外の地域から引揚げてこられたかた

■請求書類は、健康福祉課に用意してあります。請求期限がありますので、十分注意してください。

■問合先 独立行政法人平和記念事業特別基金(☎0120-234-933)へ

おぐにの物産市

このたび、東京都虎の門でおぐにの物産市を開催することになりました。ご家族やご親戚の方などで東京近辺にお住まいの方へぜひお知らせください。

■日時

10月18日(月)～22日(金)
10時30分～19時

(22日のみ17時まで)

■場所

やまがたプラザ ゆとり都

■販売品 なめこ、まいたけなどのきのこ類、山菜加工品、新米、雑穀、漬物、もち、菓子類等(予定)

■問合先 小国町観光協会へ
(☎62-2111)

保健カレンダー

月 日	乳 幼 児 健 診	受 付 時 間	対 象	場 所
11/10	ポリオ予防接種	13:00～13:30	16年1～5月生まれ	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳、問診票 (3カ月児、1歳児健康診査は除く)
11/26	3カ月児健康診査	13:00～13:15	16年8月生まれ	
	1歳児健康診査		15年11月生まれ	
11/30	2歳児歯科健康診査		14年3～5月生まれ	

■問合先 健康福祉課へ

求人情報

右の表は、9月17日現在の新規求人の内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。このほかの求人情報は、ハローワーク長井（☎84-8609）へ。



事業所名	求人数	職種	年齢	就業時間
山和建設(株)	4人	土木施工管理技士、土木作業員	18～55	8:00～17:00
安部工業(株)	1人	土木建築作業員	25～45	8:00～17:00
大河内産業(有)	5人	ダンプ運転手、事務員	不問	8:00～17:00
(株)船山工務店	3人	土木作業員	不問	8:00～17:00
(株)横川建設	5人	土木施工管理技士、重機オペレーター、分別事務員	18～45	8:00～17:00
(有)ウェーブ	1人	板金、溶接加工員	18～45	8:00～17:00
(株)井上製作所	2人	組立工、マシンオペレーター	不問	8:00～17:10
(株)クリスタルプロット山形営業所	5人	マシンオペレーター	不問	8:00～17:40
(株)ミナトエンジニアリング	3人	マシンオペレーター	不問	8:00～16:50
(株)アイライン山形支店	3人	オペレーター	18～49	8:30～16:40ほか
(株)ダイテック小国事業所	5人	重機オペレーター	18～45	8:30～16:40ほか
(有)小国技研	1人	洗浄工	30～65	8:30～17:00
(有)村上警備保障	10人	交通誘導	18～65	8:00～17:00
ハイコー(株)	2人	電気工事	18～40	8:00～17:00
(株)ジェイサービスおきたま	4人	給油業務員	20～40	8:00～16:45ほか
(株)トーコー庄内営業所	5人	シリコンウェハー製造	18～50	8:30～16:40ほか
ひさご電材(株)小国工場	1人	製造管理	28～50	8:00～17:30
(株)インタープロジェクト新潟営業所	3人	機械設計	不問	8:30～17:10
(株)インタープロジェクト仙台営業所	1人	機械設計	22～40	9:00～17:45
アベプランニング	1人	サービス、役務係	不問	8:00～17:00
ヤマト運輸(株)小国営業所	2人	セールスドライバー	20～40	8:00～17:00
(有)メディアサービス	1人	事務、営業	18～25	8:00～18:00の週4時間
(有)東部開発	1人	営業	30～57	8:00～17:30
日本生命保険相互会社川西営業所	10人	保険営業	20～50	9:00～17:15
朝日生命保険相互会社長井営業所	5人	保険営業	25～55	9:10～16:50
(有)クリエイト	2人	店員	18～40	10:00～20:00
(有)蔵王ストア	2人	店員	18～50	8:45～18:00
(有)新設・河原角農畜産物加工施設	3人	農産物加工	18～40	8:00～17:00
(株)小国製麺	2人	麺製造	18～45	8:00～17:00
(有)コンビニステーションオレンジ	1人	店員	18～45	8:00～17:00ほか
(株)肉の白萩屋	2人	精肉加工員、店員	20～30	11:00～20:00ほか
ワンダーランド子天狗	2人	食堂店員	不問	10:00～17:00
(有)白い森よこね物産品直売所	6人	調理、販売	18～45	11:00～14:00ほか
(株)キューアドリーム	4人	介護員	23～65	9:00～18:00ほか
カインドネス(有)おくに調剤薬局	2人	薬剤師、医療事務員	不問	9:00～18:30ほか
(有)白い森調剤薬局	1人	薬剤師	不問	9:00～16:00ほか

10月8日(金)

児童手当を振り込みます

10月8日(金)に10月期（平成16年6月～9月分）の児童手当を振り込みます。振込通知は郵送しておりませんので、該当されるかたは確認してください。

また、児童手当制度改正に伴い、新たに該当になったかたについては、平成16年4月分、5月分をあわせて振り込みます。

児童手当は、申請していただくことによって支給できるようになっています。次のような場合で、まだ申請を行っていないかたは早めに手続きを行ってください。

- 平成7年4月以降に子どもが生まれたが、まだ申請をしていない。
- 転入届は出したが、児童手当の手続きを忘れていた。
- 以前、所得超過によって受給資格を喪失したが、その後所得額が減った。または、扶養親族等の数が増えたために、所得制限限度額をこえなくなった。など

○所得制限などがありますので、詳しいことは健康福祉課へ。

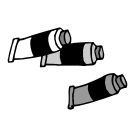


助成します

高齢者のインフルエンザ予防接種

町では、インフルエンザの予防接種を希望される65歳以上のかたに、接種料金の一部を助成します。65歳以上のかた全員に個人通知しますが、接種は希望されるかたが対象となります。

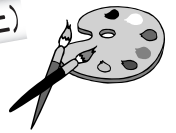
- 対象者 町内在住で、接種日当日に満65歳以上の接種を希望されるかた
- 接種期間 11月1日(月)～平成17年1月31日(月)
- 自己負担額 1,500円
- 申込方法 事前に電話で医療機関へ予約してください。10月18日(月)より予約を受け付けます。
- 接種場所 今医院、町立病院
※今医院は予約の必要がありません
- 問合せ先 健康福祉課へ



小国町文化祭

11月2日(火)・3日(水)・6日(土)

開催



小国町文化祭出展作品募集

平成16年度「小国町文化祭」に出展する作品を募集します。

- 受付日時 10月18日(月)～28日(木)
午前8時30分～午後5時
- 出展対象者 小学生以上のかたであれば、どなたでも出品できます。また、全ての作品について、テーマは自由です。
- 申込方法 総合センターに用意してある申込書に必要事項を記入し、作品に添えて申し込んでください。
- 申込先 総合センター
- 作品返却 11月5日(金) 午後1時より、総合センターで返却します。

種別	規 格	留 意 事 項
書道	半紙・画仙紙・条巾半切などを使用してください。	雅号で出品されるかたは、別紙に本名を書いて作品と一緒に提出してください。
絵画など	洋画・日本画・版画・彫刻・陶芸・デザインなどで、大きさは自由です。	額縁などに入れて提出してください。
写真	白黒・カラープリントのどちらでも構いません。大きさは4つ切り以上。組写真にする場合は、キャビネ版以上の大きさを使用してください。	題名・撮影年月日・場所を記入してください。額縁などに入れて提出してください。
俳句・短歌	短冊または色紙にかいてください。	額縁などがあれば入れて提出してください。雅号で出品されるかたは、別紙に本名を書いて作品と一緒に提出してください。出品は1人につき2作品までとします。
民芸品	ワラ・竹・つる・紙細工などを材料に用いたもので、大きさは自由です。	特に留意事項はありません。
手芸品	編み物・刺しゅうなどのもの	
郷土資料	町の歴史などに関するもの	
生け花・盆栽	特に規定はありません。	

※詳しいことは、小国町文化協会事務局（教育委員会事務局内）へ

「平成16年度小国町文化祭」を開催します。入場は無料ですのでぜひお越しください。

■日 程

日程	場 所	時 間	内 容
11月2日(火)	町民体育館	9:00～20:00	作品展示
		10:00～15:30	茶 席
11月3日(水)	町民体育館	9:00～20:00	作品展示
		10:00～15:30	茶 席
		10:00～16:00	物産販売
		12:00～16:30	舞台発表 (芸能まつり)
11月6日(土)	総合センター	18:00～21:00	舞台発表 (民謡まつり)
	沖庭小学校	12:30～16:30	沖庭小学校歌舞伎 古田歌舞伎
	総合センター	18:00～19:30	山遊亭金太郎落語会

※詳しいことは、教育委員会事務局へ

～こんなときは 町民課窓口へ届出を～

国民年金に加入している間には、就職や退職、結婚など、さまざまな節目が訪れます。これによって、国民年金の加入の種類や保険料の納めかたも変わりますので、そのつど届け出が必要になります。

届け出を忘れると、年金が受けられなくなることもあります。特に、サラリーマンの奥さんなど、配偶者に扶養されているかたは、配偶者に異動があったときにも届け出が必要になるので、ご注意ください。

次のような場合は、町民課窓口へ届け出をしてください。

- 学生や、自営業などのかたが20歳になったとき
- 住所が変わったとき
- 退職したとき
- ＜サラリーマンの奥さんの場合＞
- パートなどの収入が増えて夫から扶養されなくなったとき
- 夫が退職したとき

■問合先 町民課へ

国民健康保険・老人保健制度 入院時の費用の 減額認定申請について

医療機関に入院した場合に支払う入院時一時負担金や、入院時の食事代の標準負担額（1日780円）は、所得や入院日数などにより軽減される場合があります。該当するかは病院に入院する前に役場町民課で申請し、認定証の交付を受けてください。

なお、認定証の有効期限は毎年7月末日ですので、旧認定証をお持ちのかたも再度申請が必要です。

■対象者および負担額

要 件		入院時食事代の標準負担額（1日あたり）	※入院時一部負担金（月額上限）
住民税非課税世帯	90日までの入院	650円	24,600円
	過去12カ月で90日を超える入院	500円	
	必要経費・控除を差し引いた所得が0円の世帯に属するかた	300円	15,000円

※入院時一部負担金の減額については、国民健康保険高齢受給者証、老人医療受給者証をお持ちのかたのみです。

■申請に必要なもの 保険証、高齢受給者証または老人医療受給者証、旧認定証（お持ちのかたのみ）

■申請・問合先 町民課へ

合併処理浄化槽設置補助のお知らせ

公共下水道計画区域外における生活雑排水を浄化し、きれいな環境を守るために、合併処理浄化槽を設置するかたに補助を行っています。環境にやさしい合併処理浄化槽の普及促進にご協力をお願いします。

■対象者 公共下水道計画区域外に家屋等を所有し、基準に適合した合併処理浄化槽を設置するかた

■補助金額

人 槽	公共下水道計画区域外	東部地区（叶水、新股、大石沢、河原角）※平成20年3月31日まで
5人槽	375,000円	962,000円
7人槽	438,000円	1,212,000円
10人槽	555,000円	1,719,000円

※東部地区については、水源地域対策特別措置法に基づき平成19年度末までに設置の場合に限り、補助金額の上乗せがあります。また、単独処理浄化槽からの切替の場合上記金額に一律8万円を加算補助します。

■申請期限 申請期限は設けておりませんが、予算の都合上、早めに申請してください。

■問合先 地域整備課へ

平成16年度

地価調査結果

9月22日に県より公表された、平成16年度の地価調査結果について、小国町に関するものは次のとおりです。

■基準地の標準価格（平成16年度7月1日現在）

基準地の所在	当年価格 (円/㎡)	前年価格 (円/㎡)	変動率 (%)
兵庫館一丁目6番11	12,900	13,500	-4.4
緑町二丁目13番5	22,200	22,700	-2.2
北字原野80番25	9,800	10,100	-3.0
兵庫館三丁目5番18外3筆	16,000	17,200	-7.0
小国小坂町字八木沢三125番	(円/10a) 62,000	(円/10a) 68,000	-8.8

■問合先 地域整備課へ

横断歩道に注意していますか？

皆さんは横断歩道付近に歩行者がいたら、その手前で一時停止をしていますか。

死亡事故の約2割は、横断歩行者が被害にあう形態となっており、特に夕暮れが早まる秋から毎年急増しています。

山形県警察が、信号無視、指定場所一時不停止、横断歩行者妨害の取締りを強化することを受け、小国警察署では、特に横断歩行者妨害の取締りを強化することにしました。

横断歩行者に対して優しい運転に心がけてください。

小国警察署

白い森のお店めぐり

42

今月は、百円ショップシルクアスモ店店长安部清也さんにお話をお聞きました。

「当店は、今年の五月に白



100円ショップシルク店内の様子

森ショッピングセンターアスモ内にオープンしました。約百坪の大きな面積の中で、全商品、百五円(税込価格)という非常にお買い求めやすい値段で、何でも揃える店づくりを目指しています。商品の品数は豊富で、食料品、雑貨、台所用品などあらゆるものが百五円でお買い求めいただけます。また、当店で、毎日パソコンで発注していますので、可能な限りお客様の要望をお聞きして、発注することも可能です。これからも地域に根ざした商品を取り入れていきたいと思っています。

今年の夏は、お祭りの際の各種用品、花火などが非常に好評でした。また、これから行楽の秋を迎えるにあたり、紙コップや箸などの芋煮会用品やモミジやイチヨウなどの造花など秋物にも力を入れていきますので、ぜひお店をのぞいてみてください。

品数が豊富ですので商品の場所がわからないときは、ご案内いたしますので、声を掛けていただければと思います。従業員一同、皆さまのお越しをお待ちしております」。

編集後記

特集でもお伝えしたように、広報おぐにが半世紀の時を経て六百号を迎えました。皆さんからの情報があったの広報おぐに。情報や話題を寄せてくださった皆さん、取材に協力してくれた皆さんに心から感謝します。

現在の起こっている出来事を町のあゆみとして次の世代へ伝える。携わっているのですが、広報の役割は、なぜかリレーに似ているような気がします。これからも発行日が遅れることのないよう、次の走者へ確実にバトンをつないでいきたいです。(井上)

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

若山	舟山	祐希	(喜王)	春偉
北佐	藤琢	郎	(友敦)	春子
叶水	松井	はんな	(信知)	人恵
兵庫	舘齋	藤梨	(拓望)	也美
幸町	加藤	天星	(欽絵)	一子
宮の台	穴沢	咲裕	(洋裕)	一子
小国町	前田	友也	(光悦)	輝子

おくやみ申し上げます。

尻無	沢塩	川與	佐雄	(96)
小国小坂町	今新	次郎		(81)
石滝	水野	博行		(72)

人口のふしぎ

人口	男	4,907人(+2)
	女	5,166人(+6)
	計	10,073人(+8)
世帯数		3,310世帯(+6)
		平成16年8月31日